

学校教育目標：光と恵みと力の旭南 ～「旭南行動人」の実現を目指して～



校報 旭南

第6号

秋田市立旭南小学校

令和6年8月26日

文責：校長 木谷光男

目に見えない絆で結ばれている子どもたち

秋田市内の小中学校では、子ども同士、学校と家庭、学校と地域が強く、深い絆で結ばれ、人と人との絆のすばらしさを実感できるように各学校で「絆づくり教育プラン」を作成して取り組んでいます。

本校の「絆づくり教育プラン」は、HPの学校案内の中に掲載されています。プランでは、目に見える具体的な活動や取組が挙げられていますが、子どもたち同士の目には見えない絆に心が温かくなった出来事がありました。下段の写真は6月、修学旅行に出かける6年生に宛てた他学年児童のお守りやメッセージです。



＜1年生から＞



＜2年生から＞



＜5年生から＞

1年生からのてるてる坊主は、バス内に持ち込まれ、旅を見守り、2年生の折り紙テルテル坊主と5年生のメッセージは6年生廊下に掲示され、旅の思い出づくりを支えていました。



＜6年生から＞

その後、7月に5年生がまんたらめ宿泊研修に出かけました。研修に出かけ、誰もいなくなった教室に目を向けると、左の写真にあるメッセージが6年生から贈られていました。

修学旅行やまんたらめ宿泊研修での出来事は、実際にかかわり合う活動ではありませんし、計画されている活動でもありませんが、互いのことを思い浮かべながら思いを伝える素敵な取組でした。

旭南小学校では、毎年伝統的にこの活動が受け継がれているのだと感じました。メッセージ等の交換では実際にかかわっていませんが、いざかかわるときに、心が通じ合っているような安心した心で始められるのではないかと感じました。実際、旭南小学校の下学年の子どもたちは、上学年の子どもたちを慕い、上学年の子どもたちは、下学年の子どもたちに優しく接しています。

地域の中で育つ喜びと絆

地域で毎年行われる行事や体験は、子どもたちにとって当たり前の出来事なのかもしれませんが、ここで得たことが心や体に刻まれていくのではないかと考えます。それが、将来、地域の温かさやすばらしさ、懐かしさを思い出すことにつながり、地域を大切にしようという心情を強めてくれることと思います。裏面には、地域との絆を深めた2つの出来事をご紹介します。



＜8／3・6 竿燈まつり:差し手(左)囃子手(右)＞



＜旧松倉家住宅に展示された習字＞

夏休み前の全校集会での竿燈まつり参加激励会では、半数近くの子どもたちがまつりに携わっていることに驚きました。

子どもたちは地域の方々から技術やまつり参加の心構えを教えてもらっていました。今年は、演技場所をメールで配信したところ、たくさんの方々においでいただきました。仲間や保護者・地域の方、観客の方の温かな眼差しと声援を受け、

一人一人が大満足の時間を過ごすことができました。自分自身に対する自信や肯定感につながったことは、まつりを終えた子どもたちの表情が語っていました。

8／12に予定されていた馬口労町の草市は、悪天候のため中止となりましたが、主催者のご厚意で子どもたちの習字作品が旧松倉家住宅に展示されました。大勢の方が見に来られた話も伺い、主催者や地域の方々の子どもたちに対する温かさを感じました。絵灯籠は、来年度の草市で展示します。

さらに磨こう自分自身

4月からこれまで、子どもたちは様々なことを学び、自分自身の心と体を磨いてきました。1か月以上前になりますが、夏休み前全校集会では子どもたちに、もっている力のすばらしさ、そして豊かに成長してきたことを伝えました。以下は話の要旨です。

- 以前、84歳になる地域の人から、「皆さんの挨拶から、感動と元気をもらっている。心よりありがとうございます。」という手紙が届いたが、この方と電話で話をする、感動と元気をもらっている人がたくさんいると聞き、校長先生はとてもうれしい気持ちになったこと。人を幸せにする力をもっともっと大きくしてほしいこと。
- 6年生は、口先ではなく、行動で全校のみんなをまとめる力が育ち、一人一人、立派なリーダーになったこと。
- 5年生は、まんたらめ宿泊研修で責任ある行動、素早い行動、団結力が見られ、今やらなければいけないことを考える力が育ったこと。
- 4年生は、盲導犬を連れた人との出会いを通して、自分とは違う相手の気持ちになって考える優しい心が育ったこと。
- 3年生は、小さな卵からチョウになるまで大切に育て、命のすばらしさや、命の大切さを強く思う心が育ったこと。
- 2年生は、水や肥料を上げ、虫を取り、大切に野菜を育て、野菜にも命があることに気付き、命を大切にすることが育ったこと。
- 1年生は、ハピスマ夏祭りで一生懸命にお店の仕事をし、真に旭南小学校の一員として仲間入りし、たくましく成長したこと。
- 最後に、事故にあわず、8月26日、元気に学校に来ることを約束しました。

そして、今日、子どもたちは約束を守り、元気に登校してきました。夏休み期間中、子どもたちを温かく見守っていただいた保護者の皆様、地域の皆様に感謝いたします。

今日から学校生活が始まります。成功することも失敗することもあります。その一つ一つを自分の成長の糧にして、子どもたちには、さらに自分自身を豊かに磨いていってほしいと思います。教職員一同、力になれるように努めていきます。